

# 意欲と能力が高い人のために学校内で「会話」の英語を学ばせることは可能か 気仙沼高校・2年4組1番



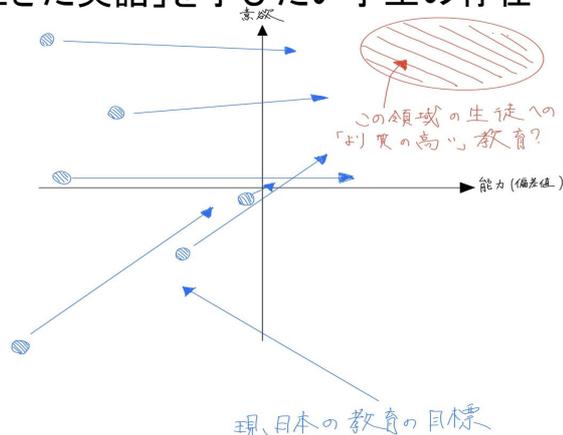
## 目的

我が国の英語教育の現状を明確にし、能力・意欲が高い生徒の力をさらに伸ばす機会を検討する

## 背景

学校英語は「機械的」なことが多い  
→実会話には長けていない

「生きた英語」を学びたい学生の存在



## 調査

### p 中学校への外部聞き取り

学習指導要領が今年度から変わった中学校

- SDGsが内容に
- ・社会性↑↑ ・英作文量↑↑
- ・フリートーク時間設置
- ・テキストの内容変更なし

### ■中学校は義務教育

→「まずは話せること」が重要

### q 「コンテキストを考慮した会話を考える」の試行調査

例)「ようこそいらっしゃいませ。」↑

(Welcome除く)How are you? Thanks for coming! Good to see you! It's great to have you here. ほかに15種以上の表現

出典:カオナビ

depends on...場所(家?店?)話者の関係(友達?目上の人か)で使う言葉が変化

## ○問題点

- コンテキスト抜きで英文を学ぶことが多い
- 会話中の相手の発言が理解できない
- 場に不相应な言葉を使うリスク
- 直訳した文をそのまま言うリスク

@ReversoContext,weblio英和和英辞典...「コンテキスト」を加味した翻訳をするシステム



## まとめ



能力:偏差値が高い  
意欲:希望制でやりたい  
上記のように回答した人に課外(放課後など)を実施するのがよい

## 今後の展望

- 教育者である人材の確保という課題
- どれほどの日本人が会話の英語を必要としているのかを探究

## 参考文献

■カオナビ [kaonavi.jp/dictionary/context/](http://kaonavi.jp/dictionary/context/) ■Yahoo!知恵袋 chiebukuro.yahoo.co.jp  
□聞き取り調査 気仙沼市立松岩中 K先生 / 国立大学法人宮城教育大 S教授